

電腦通信

第 2 号

フラッシュ型教材で基礎基本を鍛える

先日は、四年四組の基礎基本の時間に、多数の先生方に参観いただきありがとうございました。

今回は、漢字練習の前半と後半の区切りに、ちよっとした ICT 教材を使ってみました。興味を覚えた方もいらっしやるようなので、今回は、その紹介です。

フラッシュ型教材とは、フラッシュ・カードのように、課題を瞬時に次々と提示するデジタル教材です。一つの教材は十枚ほどのスライドでできています。

ゲーム感覚で楽しく、集中して反復練習することができると、基礎学力の徹底に効果があります。

インターネット上には、自由に使える何千もの教材を用意したサイトも存在します。

漢字の部首をみて
名前を言いましょう。

言?

?頁

写真を見て、調理用具の
名前を言いましょう。



3つのキーワードから
思いうかんだ県の
名前を答えましょう

落花生の産地
成田国際空港
九十九里浜

中京工業地帯
自動車の生産
瀬戸焼

4月18日(金) 16:15頃から30分間程度で、

「フラッシュ型教材で楽しく反復学習」

と題した参加自由形研修会を開催します。集団下校、アクションプラン検討会があつて、忙しい日ではありますが、関心のある方は、ご参加ください。

内容は以下の通りです。

- ・フラッシュ型教材を見てみよう
- ・授業のどの場面でどう使うのか考えよう
(ここまでで30分間の予定)
- ・フラッシュ型教材を手に入れてみよう(ここからは、時間外です)

